

【家庭・小5「ひと針に心をこめて」】①

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 製作に必要な材料や手順、製作計画や手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (思、判、表等) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (学びに向かう力等) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

【つかむ】

「針に糸を通すときのやり方のコツ」を確認し、本時のめあてをつかむ

めざせ、手ぬい名人！
玉結びのコツをつかもう。

【追究する】

「玉結び」のやり方を動画で確認し、各自練習をする。

【まとめる】

今日の振り返りをし、次時に生かせるようにする

ICT活用のポイント

個別最適な学び 協働的な学び

事例の概要

【事例におけるICT活用の場面①】

- 実物投影機で教師の手元を映し出し、説明をしながら玉結びの示範を全体に見せる。
- 自分のタブレットで「玉結び」のやり方の動画を個々に視聴し、玉結びのやり方を確認しながら各自練習をする。
- 必要とする部分を自分のペースで何度も視聴したり、動画を止めて確認したりして、技能を習得する。
- 児童目線の細かい部分までよくわかる動画を見ることで、視覚的に支援し、課題の解決に取り組みやすくする。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 記入した振り返りシートを撮影し、学習支援ソフトを通して提出する。
(ワークシートに個々の玉結びしたものを貼り付ける)
- 個人の意見を大型モニターに映し、全体で共有する。

【家庭・小5「ひと針に心をこめて」②】

【事例におけるICT活用の場面①】

個別最適な学び

必要な場面を何度も繰り返し再生したり停止したりして、確認することができた。

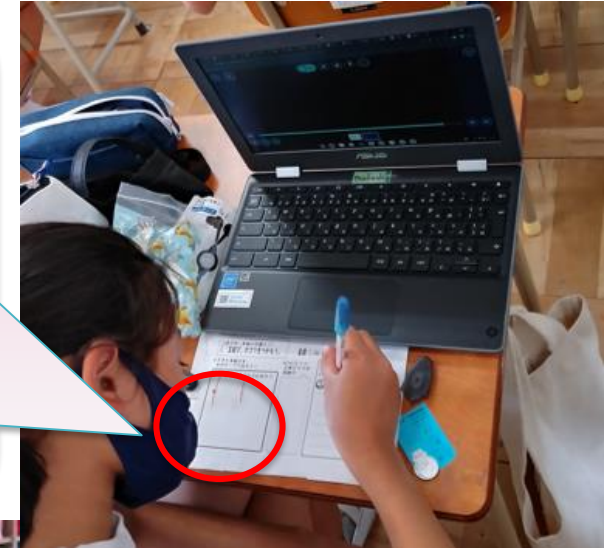


教師に質問するための待ち時間のロスが解消され、進度の差に対応した効果的で効率的な個に応じた支援となった。

【事例におけるICT活用の場面②】

協働的な学び

玉結びの作品をワークシートに貼り付け、撮影することで紙媒体の振り返りシートをデータとして蓄積することができた。



個々のワークシートを撮影し、提出することで、全体の意見を共有し、新たな気づきが得られたり、考えを整理したりできた。